

このニュースはFAXとメールで送信しています。地域民報への転載、各支部への配布にご活用下さい。

さっぽろ

市議団ニュース

2014年3月17日

No.104

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

授業料無償化は世界の流れ 井上ひさ子議員が質問

井上ひさ子議員は13日の予算特別委員会で、高校授業料を有料化する議案について、反対の立場で質問に立ちました。

この4年間、公立高校の授業料は無償でしたが、国の制度改悪により今年4月以降入学する高校生から、保護者の市民税所得割額の合計が30万4千2百円以上になると有料化されます。全日制で9,900円、定時制で2,700円の授業料を徴収するもので、札幌市では新入学生の約17%（全日制369人、定時制53人）が有償となる見通しです。

井上議員は、「憲法26条では、すべての国民の等しく教育を受ける権利を保障し、教育基本法では経済的地位による教育上の差別を禁じている」とし、「保護者が申請しなければ授業料を支払わなければならない。非正規雇用で所得の把握が難しいなど、困窮している家庭が排除されるべきではない」とただしました。

金山学校教育部長は「家計の困窮などの理由で授業料納入が困難な場合は、条例や規則で規定し、減免できる」と答弁。**井上議員**は、「機械的な対応はせずに、希望する子はすべて高校に行かれるようにすべき。今回の措置は世界の流れに逆行するもの」と、きびしく追及しました。

丘珠藤木川にせせらぎを 宮川議員が質問

宮川潤議員は、13日の予算特別委員会で、水と緑のネットワーク事業について質問しました。

丘珠藤木川は、年間60万人が来場するサッポロさとらんど内を流れ、多くの方が目にする川にもかかわらず、流れはなく、泥炭の影響で河底はオレンジ色に着色しています。

宮川議員は、丘珠藤木川への導水として、具体的に2例を挙げ、「丘珠藤木川の導水に、もっとも合理的で、工事の規模も小さくて済む方法を検討すべきだ」と求めたのに対し、**紅露尚志計画担当部長**は「様々な課題はあるが、将来的に導水が可能かどうか、研究をすすめる」と答弁しました。

さらに、**宮川議員**は、「(創成川水再生プラザから高度処理水を導水した)安春川のように、枯渇した河川にせせらぎを回復し、うるおいあるまちづくりをすすめるべきだが、財政面の慎重な検討も必要。さとらんどの60万人の来場者が土と農に触れ、せせらぎとうるおいを感じられることを、十分に踏まえるべき」と求めました。